

第2学期終業式式辞（令和5年12月20日）

皆さんおはようございます。コロナもインフルエンザもまだ心配ではありますが、こうして集まって終業式ができることを、うれしく思います。皆さんにとってどんな2学期だったでしょうか。寒さはこれから本格的になりますが、あさっての冬至以降は、昼の長さが確実に長くなります。1年後、2年後の目標に向けて、皆さんがよい年を迎えられるよう祈っています。

先日、今年を表す漢字が発表され、今年は「税」、ほかにも「暑」、「球」などが取り上げられていました。年末らしいニュースでしたが、もう一つ、最近の話題に、愛媛ゆかりの漫才コンビの解散、というものがありました。二人は、今年愛媛で行われたねんりんピックで、開会式を大いに盛り上げてくれたので、とても驚きましたが、報道では、ひとりが何回か遅刻を重ねたことで、信頼関係が崩れ、解散につながった、という話だったと思います。

それに関連した話になるのですが、私は、教員になって13年たった35歳のときに、研修として、1年間、今治国際ホテルで働いたことがあります。ホテルでの会議や結婚式、レストラン、フロントといった仕事は、教員としてのスキルが役に立たない、35歳にして、使えない自分を思い知らされるという、つらい日々でもありましたが、今、振り返ってみると、教員ではできない経験ができ、かけがえのない1年だったと思います。教え子の結婚式に立ち会うことができ、映画のロケに訪れた俳優さんや著名人の案内をすることもありました。その経験のうち、今日は、先ほどの遅刻の話、時間を守る、ということに結び付けたお話をします。

ホテルでは、会議や結婚式の始まる時間までに準備ができていない、時間どおりに始められない、ということがあれば、信用が失われ、大きな損益につながります。ですから、開始時間から逆算して、大きな会では100人以上が、入念に準備します。時間が守れなければ、お客様の信頼も失うし、同僚の努力も報われません。このことは、どの仕事も同じで、時間や約束の期限が守れないと、次の仕事を失うもとになります。漫才のコンビはどうだったのでしょうか。

では、学校はどうか。遅刻が0であることが理想ですが、1日10人くらいが遅れてくるくらいでしょうか、でも始業直前に駆け込んでくる人はもう少し多い。時間のことについて、もっと自分に厳しくした方がよい人がいる、と思いながら、登校風景を見ています。あと3分早く来るだけで、心の余裕ができ、遅刻の後ろめたさから解放され、指導も受けなくて済む、周囲の雰囲気も悪くならない、急いでいて起こる事故やけがの心配が少ない。いいことばかりです。

いつも時間にきちんとしている人が、たまたまトラブルがあったり体調が悪かったりして遅刻をしてしまう、その場合、信頼はすぐには損なわれません。が、いつも駆け込み、ときどき遅刻、そういうことが繰り返されている人がいるとしたら、時間の考え方を改めてほしい。時間はシビアです。大学入試の開始時間も、入学手続きの締切りの期限も、遅れている人を待つはくれません。

ここにいるほとんどの人は時間の管理ができています。先日、火曜の全校集会の開始時間について指摘を受けたあとは、皆さん、自覚を持って動いてくれてますし、朝、8時20分になったら、自発的に読書が始まっている、東高はそんな集団であると思っています。だから、東高は地域から信頼されているのです。

遅刻が重なったことをきっかけに解散する、という芸人さんの話を聞いて、今日はお話をしました。ホテルでのほかの話は、機会があれば、またお話しします。

最後にもう一つ。頑張っている3年生にメッセージを送ります。ここまでの受験勉強、決してたやすくはなかったと思いますし、今も、本当によく頑張っています。毎週毎週の模擬試験に全力を尽くし、ときに弱音を吐きながらも、仲間同士で励まし合う、昼休み、放課後と先生方に食らいついて勉強している、そんな皆さんに心からエールを送ります。これから、冬休み、まだまだ伸びる、と自分を信じて、みんなで一緒に、頑張っていきましょう。

今日の話を手簡単にまとめると、時間を大切に、そして3年生にエールを送る、ということです。3年生はもちろん、この2学期、1年も2年もよく成長しました。学校行事も部活動も学習もよく頑張っています。そんな頑張っている東高生の、ますますの活躍と成長を期待して、式辞とします。